平成３０年度　全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします

□北方町全体の結果について

今年度も４月に、全国の小学校６年生と中学校３年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が国語と算数・数学に加え、３年ぶりに理科を加えた３教科で実施されました。また、子どもたちに学習意欲や生活習慣などを尋ねる質問調査も実施されました。

先日、全国の都道府県の平均点などが公表されましたが、北方町全体の調査結果や対策について分析しましたのでお知らせします。

■学力に関する調査の結果から

学習面では、基礎的な知識や技能は身に付いてきていますが、学習内容を深く理解し、考えを筋道立てて説明したり、整理して書いたりする力に課題があります。

小学校・・・全国標準と比べて、理解力は同等で活用力はよく身に付いています。

中学校・・・全国標準と比べて、理解力も活用力もよく身に付いています。

【小学校】

	身に付いている内容・例	課題のある内容・例
国　語	**◎文章から必要なことを読み取る力** 〔例〕 図書館への行き方について説明する会話文から、その説明として適切なものを選択して答える問題 （正答率 92.5%）	**●自分の考えを筋道立てて記述する力** 〔例〕 異なる立場の意見を踏まえ、自分の考えを記述する問題 （正答率 42.5%）
算　数	**◎図形や公式など基礎的な知識を基に解く力** 〔例〕 条件に合う図形を選択して答える問題。 （正答率 76.4% ） ※全国標準と比べてよく身に付いている	**●グラフ等から分かることを筋道立てて説明する力** 〔例〕 複数のグラフを関連付けて、そこから説明する問題 （正答率 26.4%）
理　科	**◎理科的な用語など基礎的な知識を理解する力** 〔例〕 動物の体の部分の名称を答える問題。 （正答率 80.5%）	**●実験や観察の結果について深く考える力** 〔例〕 流れる水の量の変化によって川岸はどのようにけずられるかを考え、その理由を記述する問題。 （正答率 17.8%）

【今後のポイント】

「内容を深く理解する力」「伝えた内容を整理して分かりやすく書いたり、話したりする力」を育てること。

【中学校】

	身に付いている内容・例	課題のある内容・例
国　語	**◎文章から必要なことを読み取る力** 〔例〕 登場人物の描写から登場人物の説明として適切なものを選択して答える問題。 （正答率 85.6%）	**●文章から目的に応じて内容を整理して書く力** 〔例〕 文章から「天地無用」という言葉の意味が誤って解釈される理由を記述する問題。 （正答率 14.4%）
数　学	**◎文字式や方程式、比例式の性質などを活用して解く力** 〔例〕 比例式 X：20＝3：4 のXの値を求める問題。　（正答率 89.7%）	**●グラフの表す意味を理解し、説明する力** 〔例〕 列車の運行の様子を表したグラフから、列車が駅を通過する時間を求める方法について説明する問題　（正答率 15.5%）
理　科	**◎植物や動物の体のつくりや働き等の基礎的な内容を理解する力** 〔例〕 複数の海産物の中から軟体動物を 2 種類見つけ、その組み合わせとして適切なものを、選択肢から選んで答える問題。 （正答率 82.2%）	**●実験や観察の結果などから自分の考えを整理して書く力** 〔例〕 実験の様子を示した図や説明から、実験の結果について、なぜそうなるのかを記述して答える問題。 （正答率 17.2%）

【今後のポイント】

「仲間の意見と関連付けて自分の考えを筋道立てて書いたり、説明したりする力」「目的に応じて文章の展開を適切に捉え、必要な内容を正しく読み取る力」を育てること。

■生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査の結果から

生活面では、北方の子は、決められたことを守ったり、仲間を思いやったりするなど、集団の一員としての意識が高く、ボランティアに進んで参加するよさが育っています。

【身に付いている内容例】

○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか？

「当てはまる」　小学生　８６．２%　中学生　８５．１%（全国標準より意識が高い）

いじめを未然に防止するためには、すべての児童生徒が「いじめは絶対に許されないことだ」と自覚することが大切です。町内の小中学生にいじめ防止のための意識が育っていることがわかります。

○地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか？

「参加したことがある」　小学生　６８．４%　中学生は８７．４%（全国標準より意識が高い）

町内の中学生が地域のボランティア活動等に積極的に参加していることが分かります。小学生にも身近なボランティア活動に参加できるよう支援していきます。

【課題のある内容例】

▲将来の夢や目標を持っていますか？

「当てはまる」　小学生　６９．０%・中学生　３６．２%（全国標準より意識が低い）

夢や目標を持つことは毎日の学習や生活の原動力です。今後も、子どもたちが夢をもてるように「夢の教室」事業などの充実を図ります。